

月刊



平成23年9月1日発行 通巻188号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・公益法人化に向けての活動… 2
- ・2011年～2012年今後の
CPD認定プログラム情報 … 3
- ・アートとアーキテクチャーを
巡る研修旅行【追加募集】… 4
- ・女性委員会より DoシリーズNo.58
「建築甲子園」優勝作品
～わたしのまちの油田～
実建築をめざして車座井戸端
会議のその後
- ・青年委員会家族親睦事業から
親睦旅行のお知らせ …… 5
- ・青年委員会 「あーき塾2011」
特別講演会のお知らせ …… 6
- ・青年委員会 2011年 びわこ
ペーロン大会 報告
- ・青年委員会 第7回親睦ゴルフ
コンペ 開催予告
- ・瑕疵担保責任保険及び保証
事故から見える施工の注意点
等の説明会(ご案内) …… 7
- ・宮崎様ご逝去
- ・アイ・湖国びと …… 8
- ・支部だより …… 9
大津支部・湖南支部・
湖東支部・湖北支部
- ・9月の暦
- ・「あきんど号ラリー参戦記」
〈第9回〉…… 10
- ・おうみ賢人 (旧伊庭家住宅)



おうみ賢人
(第1回)

今月号からの月刊「家」表紙は「おうみ賢人」と題し、滋賀県ゆかりの偉人とその方に関係の深い建物を紹介していきます。その時々々の偉人と建築家との関係も興味深いものがあります。また、リクエストや情報も大歓迎ですのでぜひお寄せください。よろしくお願いいたします。

伊庭 貞剛(いば ていごう)

明治時代の実業家。「別子銅山中興の祖」といわれ、明治時代に東の足尾、西の別子と言われた、住友新居浜精錬所の煙害問題の解決にあたり、環境復元にも心血を注ぎ、企業の社会的責任の先駆者と言われている。今現在、爪の垢を煎じて飲んでもらいたい企業の名が浮かぶものである。

(参考文献：ウィキペディア)

公益法人化に向けての活動

構築・連携特別委員会 委員長 山中 誠

*臨時総会の開催

当委員会では、本会の公益法人への移行に向けて検討してまいりました。

そのために本会において決定しておかなければならないことがあり、去る8月4日に臨時総会を開催いただき、下記の6議案について承認をいただきました。

第1号議案	公益法人移行承認の件
第2号議案	定款変更（案）承認の件
第3号議案	会員等の位置づけ及び会費に関する規程（案）承認の件
第4号議案	役員の報酬等に関する規程（案）承認の件
第5号議案	現役員の公益法人移行に伴う任期確認の件
第6号議案	公益法人認定申請書字句修正委任の件

県へ認定申請書を提出した後は「滋賀県公益認定等委員会」で審査され、公益法人として認定される予定です。見通しとしましては、平成24年の3月に認定を受け、4月に登記が出来ればと考えております。

特に大きく変わったことは、定款変更の中で総会開催の定足数が5分の1から3分の1になったことで、ますます会員の皆様の協力が不可欠となります。

なお、第1号議案から第6号議案までの内容は本会のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



*公益法人としての今後の活動

本会の公益法人としての活動は、現在活動いただいている事業のうち実態調査事業のような受託事業及び書籍販売などの収益事業を除いた事業のほとんどが公益事業となります。

したがって、公益法人になったからといって特に変わることはなく、今までどおりの事業を推進していくことになります。

ただ、経理面での仕分けが変わるため、事務作業量が多くなることが予想されます。

また、会員の皆様の一番関心のある「支部についてはどうなるのか？」についてですが、現在の支部は本会の一組織と判断される（県見解）ことから、支部の事業及び支部会費等は本部との連結決算としなくてはならず、支部の活動が制限され、支部活動の良さが失われてしまいます。

そうならないようにするには、独自の活動が出来るような組織とする必要があります。

これらのことを踏まえ、支部の今後の在り方や支部規約などの内規の見直しについて、総務委員会及び細則・内規等検討特別委員会で検討いただき、「公益社団法人滋賀県建築士会」としてよりよいスタート出来るよう願っております。

2011年～2012年今後のCPD認定プログラム情報

講習・講座等内容の詳細につきましては、プロバイダーにお問い合わせください。

地域	日時	認定プログラム名	プロバイダー名	会場	単位
滋賀県	2011年9月21日	一級/二級/木造建築士定期講習(5A-02)	財団法人 建築技術教育普及センター	ビバシティ彦根	6
滋賀県	2011年10月9日	平成23年度「日本伝統建築技能研修(後期)」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	8
滋賀県	2011年10月10日	平成23年度「日本伝統建築技能研修(後期)」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	6
滋賀県	2011年10月13日～14日迄	職長・安全衛生責任者教育	建設業労働災害防止協会滋賀県支部	滋賀県建設会館	14
香川県	2011年10月15日～16日迄	(社)滋賀県建築士会女性委員会20周年事業 瀬戸内海に浮かぶ島 アートとアーキテクチャーを巡る研修旅行	社団法人滋賀県建築士会	直島	8
滋賀県	2011年10月22日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	調整中	3
滋賀県	2011年11月2日	施工管理者等のための足場点検実務者研修	建設業労働災害防止協会滋賀県支部	滋賀県建設会館	4
滋賀県	2011年11月11日	『東京スカイツリーの構造設計』特別講演会	社団法人滋賀県建築士会	Riseville都賀山	2
滋賀県	2011年11月26日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	調整中	3
滋賀県	2011年12月1日～2日迄	職長・安全衛生責任者教育	建設業労働災害防止協会滋賀県支部	滋賀県建設会館	14
滋賀県	2012年1月9日	平成23年度「日本伝統建築技能研修(後期)」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	8
滋賀県	2012年1月10日	平成23年度「日本伝統建築技能研修(後期)」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	6
京都府	2011年9月27日	一級/二級/木造建築士定期講習(5B-53)	財団法人 建築技術教育普及センター	メルパルク京都	6
京都府	2011年10月15日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	京都産業会館第一会議室	3
京都府	2011年10月16日	伝統工法・現代工法継承研修会	社団法人日本左官業組合連合会	雇用・能力開発機構京都センター	5
京都府	2011年10月19日	木造住宅設計実践技術(京都職業能力開発短期大学校会場)(1回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
京都府	2011年10月19日	カナダ産構造用面材OSBセミナー	カナダウッド	京都テルサ	4
京都府	2011年10月20日	木造住宅設計実践技術(京都職業能力開発短期大学校会場)(2回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
京都府	2011年10月29日	建築計画におけるリアルチェックプレゼンテーション(1回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
京都府	2011年10月29日	パッシブ換気による換気設計(1回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都センター	6
京都府	2011年10月30日	パッシブ換気による換気設計(2回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都センター	6
京都府	2011年11月5日	建築計画におけるリアルチェックプレゼンテーション(2回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
京都府	2011年11月12日	室内の光環境設計実践技術(1回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
京都府	2011年11月16日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	京都産業会館第一会議室	3
京都府	2011年11月19日	室内の光環境設計実践技術(2回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
大阪府	2011年9月21日	大阪ステーションシティ見学会	社団法人日本建築協会	大阪ステーションシティ	2
大阪府	2011年9月22日	第37回公開講演会「東日本大震災」	一般社団法人関西建築構造設計事務所協会	建設交流館8階グリーンホール	2
大阪府	2011年9月27日	一級/二級/木造建築士定期講習(5C-52)	財団法人 建築技術教育普及センター	大阪国際会議場(グランキューブ大阪)	6
大阪府	2011年9月30日	シンポジウム(大阪)「中小規模建物を対象としたエネルギーマネジメント」	社団法人空調調和・衛生工学会	キャンパスポート大阪 ルームD+E	4
大阪府	2011年10月5日	平成23年度第2回コンクリート工事実務研修1日目	財団法人日本建築総合試験所	建設交流館8階グリーンホール	7
大阪府	2011年10月5日	公共建築物の点検・確認ガイドライン	財団法人建築保全センター	建設交流館	3
大阪府	2011年10月5日	見学会「(仮称)四天王寺悲田院高齢者複合施設」	社団法人建築設備技術者協会	(仮称)四天王寺悲田院高齢者複合施設	2
大阪府	2011年10月19日	技術サロン「個別分散空調のエネルギーマネジメントと最新技術」	社団法人建築設備技術者協会	エル・大阪	2
大阪府	2011年10月21日	カナダ産構造用面材OSBセミナー	カナダウッド	ティーオージー	4
大阪府	2011年10月27日	RC造編-基礎Iコース<耐震設計の考え方、RC造建物の構造計算演習>【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年10月28日	RC造編-基礎Iコース<耐震設計の考え方、RC造建物の構造計算演習>【第2日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年11月10日	平成23年度マンション維持修繕技術専門課程研修	社団法人 高層住宅管理業協会	綿業会館	8
大阪府	2011年11月10日	RC造編-基礎IIコース<耐震設計の考え方、RC造建物の構造計算演習>【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年11月11日	平成23年度マンション維持修繕技術専門課程研修	社団法人 高層住宅管理業協会	綿業会館	8
大阪府	2011年11月11日	RC造編-基礎IIコース<耐震設計の考え方、RC造建物の構造計算演習>【第2日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年11月14日	特殊建築物等調査資格者講習 大阪	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	6
大阪府	2011年11月15日	特殊建築物等調査資格者講習 大阪	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	6
大阪府	2011年11月16日	特殊建築物等調査資格者講習	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	7
大阪府	2011年11月17日	特殊建築物等調査資格者講習 大阪	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	4
大阪府	2011年11月25日	基礎から学べる構造設計シリーズ造編-基礎Iコース-【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年11月26日	基礎から学べる構造設計シリーズ造編-基礎Iコース-【第2日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年12月9日	基礎から学べる構造設計シリーズ造編-基礎IIコース-【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年12月9日	木のいづくりセミナー	木構造振興株式会社	梅田センタービル	4
大阪府	2011年12月10日	基礎から学べる構造設計シリーズ造編-基礎IIコース-【第2日目】	財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6

犬島アートプロジェクト「精錬所」

瀬戸内海に浮かぶ島

アートとアーキテクチャーを巡る研修旅行

～犬島・直島・小豆島で
芸術作品に触れ・語り合しましょう～

昨年『瀬戸内国際芸術祭2011』が開催された、瀬戸内海の島々。数々の芸術作品と建築物が点在し、何度でも足を運びたくなる場所です。しかし、船の便も少なく、なかなか一度で見て廻る事は出来ません。女性委員会では20周年記念事業として、この瀬戸内海の三島を巡る見学研修旅行を開催します。

船をチャーターすることで効率よく島を巡り、さわやかな秋の日を満喫しましょう。宿泊先の小豆島では、周年記念として女性部の足跡をたどり、懇親会で未来に繋がります。どなたでも参加できますので、多数の参加者をお待ちしています。男性・女性・会員・会員外 問いません。土日ですので、ご家族での参加もOKですよ。

【主な見学予定場所】

犬島：妹島和世 家プロジェクト 三分一博志
精錬所（2010年度 日本建築大賞受賞）
直島：妹島和世+西沢立衛/SANNA
海の駅「なおしま」
家プロジェクト 安藤忠雄 地中美術館

●日時：平成23年10月15日(土)～16日(日)

●会費：会 員 35,000円

会員外 45,000円

★シングルご希望の方は10,500円アップとなります。

※詳しくは月刊「家」8月号をご覧ください。

女性委員会より

Doシリーズ No.58 「建築甲子園」優勝作品 ～わたしのまちの油田～実建築をめざして 車座井戸端会議のその後

6月11日に開催しました『「建築甲子園」優勝作品～わたしのまちの油田～実建築をめざして』車座井戸端会議は、高島副市長、高島市産業経済部長、高島市商工会職員をはじめ、地元建築士、地元施工業者など様々な方面からご参加頂き、活発で前向きな意見交換会となりました。

貴重なご意見を基に、「開催の経緯と参加者の内訳、実建築をめざしたいと思う理由」「作品の魅力について」「実建築の可能性についてどう判断するか」「実建築に向けての具体的な取り組みについて」「滋賀県建築士会女性委員会の思い」についてまとめ、井戸端会議の報告書を作成しました。女性委員会の思いとは、地元での反響も大きく様々な立場の方が実建築に向けて熱い視線を送っている中、私たち女性委員会は実建築に向けてのコーディネーター役を担うことで、高校・学生さんとの末永い交流をはかりたい、この交流がよき教材となり、双方にとっての学びの場となることを期待するというものです。

この報告書を持参し、8月24日、県立安曇川高校を訪問しました。藤支教頭、高橋教諭、太田教諭、山川臨時講師の4名がお出迎え下さいました。「かばたのある暮らしを提案した作品が建築甲子園で優勝したという反響は大きかった。その上、実建築をめざすとは思ってもみなかったことであるが、もし可能であるならば・・・と夢がふくらむ。実際に建築されるなんてまたとない機会である。知識や経験のある女性委員会さんが第三者的な視点で実建築に向けてバックアップして下さるのならば安心できる。現場を体験するいい教材となる。」とのご意見を頂きました。当日不在であった校長並びに作者の古閑さんとも相談の上、返答を頂くこととなりました。

そして、8月31日 県立安曇川高校より正式に、～わたしのまちの油田～作品の実建築に向けての了承を得ました。「これからは、本当にたいへんだと思いますがよろしくお願ひします、古閑も楽しみにしています。」とお言葉を頂きました。

「かばたのある地域の暮らしを具現化してみようよ」から始まった実建築プロジェクトです。実建築をめざす過程も実建築後も、教育の場にとって、地域の人と自然と暮らし・まちづくりにおいて、有意義なプロジェクトとなるべく、活動していきます。ご協力よろしくお願ひします。



県立安曇川高校会議室にて

恐竜のロマンと不思議を体験しよう!
(福井県立恐竜博物館)



建築家 黒川紀章 氏 設計の迫力の空間!

越前和紙づくり体験!
(越前和紙の里)



みんなで
オリジナル
うちわを
作ろう!

- 日時** 平成23年11月6日(日) 7:00~20:00
- 場所** 福井方面(越前和紙の里~恐竜博物館~日本海さかな街)
- 募集定員** 40名(会員及び会員家族)
※ただし、締切日前でも定員になり次第締め切ります。【締切10月21日(金)】
- 参加費用** 大人 2,500円 子ども 1,000円 【当日ご持参下さい】
- 申込方法** 下部のお申込欄に必要事項をもれなくご記入いただき、
(社)滋賀県建築士会事務局までFAXを送信してください。

行程

甲賀市役所水口庁舎7:00——JR大津駅逢坂ビル前7:55——彦根IC8:45——休憩——越前和紙の里10:15~11:15——武生(昼食)11:30~12:30——福井県立恐竜博物館13:30~15:30——日本海さかな街15:00~15:30——休憩——彦根IC18:15——休憩——JR大津駅逢坂ビル前19:15——甲賀市役所水口庁舎20:00



(日本海さかな街)

青年委員会 家族親睦事業 参加申込用紙

支部名	フリガナ/お名前	年齢	当日連絡先(携帯電話)	E-メールアドレス/FAX番号	乗車場所	子供用食事
支部					<input type="checkbox"/> 甲賀市役所 <input type="checkbox"/> 大津駅または <input type="checkbox"/> 草津駅 <input type="checkbox"/> 彦根IC	<input type="checkbox"/> 必要
支部					<input type="checkbox"/> 甲賀市役所 <input type="checkbox"/> 大津駅または <input type="checkbox"/> 草津駅 <input type="checkbox"/> 彦根IC	<input type="checkbox"/> 必要
支部					<input type="checkbox"/> 甲賀市役所 <input type="checkbox"/> 大津駅または <input type="checkbox"/> 草津駅 <input type="checkbox"/> 彦根IC	<input type="checkbox"/> 必要
支部					<input type="checkbox"/> 甲賀市役所 <input type="checkbox"/> 大津駅または <input type="checkbox"/> 草津駅 <input type="checkbox"/> 彦根IC	<input type="checkbox"/> 必要

※集合場所を大津駅としておりますが、草津駅の希望者が多い場合、草津駅に変更になる場合があります。
お申し込みはFAXにて・・・(社)滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602> (お問い合わせは... TEL.077-522-1615)

青年委員会「あーき塾2011」特別講演会 『東京スカイツリーの構造設計』

株式会社日建設 構造設計主管の小西 厚夫氏（滋賀県守山市出身）をお招きし、『東京スカイツリー』の計画概要・耐震、耐風構造・基礎構造・最先端技術、そして伝統的日本建築を意識したデザイン等についての、特別講演会を開催いたします。構造設計に直接携わられた貴重なお話しが聞けることと思います。

- 開催日時 平成23年11月11日(金) 開場18:00 開演18:30 終演20:30
- 場 所 Riseville都賀山 滋賀県守山市浮気町300-24 TEL077-583-7181(代)
- 参加費 建築士会会員：無料 学生：500円 一般：1,000円
- 定 員 150名（申し込み先着順）※定員になり次第締め切ります
- CPD単位 2単位（予定）
- 申込方法 別紙、申込用紙に必要事項をご記入の上、社団法人滋賀県建築士会事務局あてに10月31日(月)までにFAXまたはメールでお申し込みください。受付が完了いたしましたら、「申込確認票」を送信いたしますので、必ずFAX番号またはメールアドレスをご記入ください。「申込確認票」は当日会場受付までご持参下さい。

※詳細は、別紙折り込みチラシをご確認ください。

青年委員会

2011年 びわこペーロン大会 報告

青年委員会、夏の風物詩となりました「びわこペーロン大会」が今年も8月20日(土)大津市のなぎさ公園サンシャインビーチにて開催されました。

青年委員会は20人漕ぎ一般の部に参加しました。その他に10人漕ぎの部で、近建青で1艇、京都府建築士会で1艇、参加いたしました。今年も新メンバーが加わり、経験者を含め船に乗り込みました。第1レース目は、昨年のベストタイムに近い好タイムながら3着、そして第2レース目「次は行けるゾ」と気合十分でのぞみましたが、少し空回りで5着、予選敗退となりました。

結果は残念でしたが、レースを通じて青年委員会の結束力が深まり、また身近な琵琶湖をさらに近くに体感でき、貴重な体験ができました。

レース後は、応援に駆け付けて頂いた方々や近建青の皆さんとバーベキューをワイワイ楽しみ、あっという間の1日となりました。

滋賀県建築士会と近建青の皆さんとの親睦もさらに深まり、建築士会のアピールもでき、青年委員会、夏の「びわこペーロン大会」が終わりました。

応援して頂いた皆様、船に乗って頂いた皆様、“1日、ありがとうございました。”



今年も沢山のメンバー、応援団が集まりました。

青年委員会

第7回親睦ゴルフコンペ 開催予告

場所：甲賀カントリー倶楽部

日時の詳細及び募集は10月号にてお知らせいたします。

乞ご期待ください。



瑕疵担保責任保険『まもりすまい保険』・『リフォーム保険』・『既存住宅保険』 及び保証事故から見える施工の注意点等の説明会(ご案内)

(財)住宅保証機構・(財)滋賀県建築住宅センター

国土交通省より住宅瑕疵担保履行法に基づき、保険法人の指定を受け、新築時の『まもりすまい保険』の業務を推進させて頂いております。

この度改正されました『まもりすまいリフォーム保険』・『まもりすまい既存住宅保険』また新設されました『まもりすまい大規模修繕かし保険』、さらに保証事故につながる【見てわかる施工注意ポイント】等につきまして説明会を開催させていただきます。

公私ご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上、この機会に説明会を受講いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

- 開催日時 平成23年10月26日(水) 13:30~16:45(受付13:00~)
- 開催会場 ピアザ淡海「ピアザホール」 大津市におの浜1-1-20 TEL.077-527-3315
- 講習内容
 - ①『まもりすまい保険』・『まもりすまいリフォーム保険』・『まもりすまい既存住宅保険』・『まもりすまい大規模修繕かし保険』、既存住宅流通・リフォーム推進事業(国の補助事業)等について
 - ②保証事故関係【見てわかる施工注意ポイント】等について
 - ③その他
- 定員 250名(先着順です。定員になり次第締め切ります。)
- 申込方法 下記申込欄に必要事項をご記入の上、FAXしてください。
- 申込先 財団法人 滋賀県建築住宅センター FAX.077-569-6561
- 申込締切 平成23年10月11日(火)

瑕疵担保責任保険『まもりすまい保険』・『リフォーム保険』・『既存住宅保険』 及び 保証事故から見える施工の注意点等の説明会 申込書				申込日	月	日
まもりすまい保険及び まもりすまいリフォーム保険等、説明会	日時	平成23年10月26日(水) 13:30~16:45				
	会場	ピアザ淡海 ピアザホール(滋賀県立県民交流センター)				
事業所名						
※届出事業者番号 <small>(財)住宅保証機構の 届出事業者の方は記入</small>						
住所	〒 -					
	TEL				FAX	
受講者名	部署				役職	
	氏名					

訃報

宮崎様ご逝去

副会長 井島 均

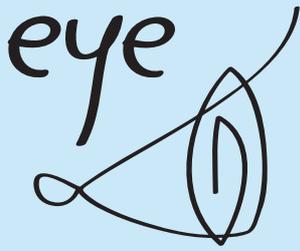
(社)滋賀県建築士事務所協会会長 宮崎 清史様が去る8月24日にご逝去されました。宮崎様は平成22年に(社)滋賀県建築士事務所協会の会長に就任され、建築士事務所協会の牽引者として、また(社)滋賀県建築士の顧問にもご就任いただき、士会のご意見番として折に触れご指導を頂いておりました。64歳のお年であり職半ば、志半ばにてご逝去されましたことは大変残念であります。

生前中の在りし日をお喜びし謹んで哀悼の意を表しますと共に、宮崎様の口癖でありました「みんな しっかりせなあかんぜ…」のお言葉を大切に私達建築士は士会発展の為に尽力いたしますことをお誓い申し上げますので安らかにあの世からお守りください。

最後に、(元会社の同僚でしたからあえて言わせていただきますことをお許しください。)

良き友、良きライバル、良き指導者…宮崎君。君はしっかりしていたなあ…。

心から本当に「ありがとう!」。



— アイ・湖国びとの愛情視線 —

第6回 木工作家 川端健夫さん

暮らし道具の家具作り



かわばた たけお
川端 健夫さん

1971年、大阪府枚方市生まれ。東京農業大学林学科卒業後、農業法人に就職。農業者として4年間土にまみれる。その後、足立技術専門学校木工科（東京）を経て木工作家の道に進む。

三重との県境に近い甲賀市甲南町野川。蚕小屋、ニットの工場、そして農業学校として80年以上の歴史を刻んで来た建物に人を介して出会ったのは2003年のこと。窓ガラスは割れ、壁は崩れ落ち、地元でお化け屋敷と呼ばれていた里山の校舎を自宅兼工房にするべく、コツコツと改修に取りかかった。暗いイメージを払拭して気持ちの良い空間にしようと教室などの仕切りを取り払い、壁は白く塗り替えた。そうして生みだした広々とした空間に翌年、ギャラリーとパティシエである妻美愛さんの菓子工房「マンマミーア」を構えた。評判は口コミで広がり、地元の人たちに愛されて遠方からも多くの人を訪れるようになった。

今年7月には木工仲間と3人でオリジナルブランド「COUSHA」を作った。この地に新しく根を張り、人々との出会いや日々の生活の中から得た“気付き”を積み重ねて生まれた「COUSHA」には、コミュニケーション (CO) を生み (U) 出す場所 (校舎・SHA) という意味を込め、暮らしの道具としての家具づくりを目指す。同時に、夫婦の工房での活動などを写真主体に記録した本「つくる」も出版した。新

作の家具展や雑誌の取材で知り合ったライター、カメラマンとの2年半の交流を経て出来上がった本の収益は全額、東日本大震災のために使うことにしている。

「昔はカッコいいものを作りたくて、今思うと一人よがりだったような気がします」。製作することだけにとらわれ、食事でも適当で、時間に関係なく働いた。自由なはずなのに苦しく、どこか無理に形を作っていた。ふと自宅を見回すと、作ったものは何一つ置いていない。テーブルはミカン箱に天板を載せただけ。暮らしから離れた家具作りに違和感が募った。

意識に変化の兆しが現れたのは美愛さんに長男イツキ君が宿った時だった。助産師さんから「生まれたばかりの赤ちゃんにシロップを飲ませる小さなスプーンを作ってみたら」と提案された。赤ちゃんの口ってどのくらいなんだろう？

持ちやすい形は？大きさは？我が子を想い、ワクワクしながら作るスプーン。出来上がると、じんわりとした温かで穏やかな気持ちが出たという。以来、肩の力が抜けて自然体になり、もの作りに迷いがなくなっていった。イツキ君が生まれてもうすぐ5年。暮らしに軸が出来た。朝5時には起きてジョギング、朝食を済ませたら保育園に送り、9時から18時まで仕事。19時には家族そろって夕食を囲み、遅くても零時までには床に就く。休みの日はしっかり休んで遊ぶ。自由な時間は減ったはずだが、暮らしの中にヒントがあり、アイデアが生まれて挑戦するゆとりができた。毎日、パティシエ服にアイロンをかける美愛さんの姿を見て、次は使わないときは机になるアイロン台をつくってみようと考えている。



「COUSHA」新作家具のテーブルと椅子

つくる
MANMAMIA



マンマミーアの本「つくる」
定価1000円

(取材：M. Y)

大津支部

びわ湖大花火大会鑑賞会開催

大津支部では8月8日(月)、アヤハレークサイドホテルにて86名の参加のもとびわ湖大花火大会の鑑賞会を実施いたしました。ご家族連れでご参加の会員さんには、飲食をしながらゆったりとしたスペースで花火を鑑賞していただきました。例年、同じ場所で、ほぼ同時刻、同じような時間をすごしている訳ですが、毎年、毎年、打ち上がる花火に感動するのは、花火が持っている大きな魅力なのでしょうか。今年も大盛況のうちに終わることができました。



湖東支部

家族親睦を開催しました!!

湖東支部では、7月31日に三重県津市藤方御殿浜へ潮干狩りに行ってきました。

大人19名、子供6名の計25名の方々に参加していただきました。

当日は、暑い日ではありましたが海風を感じることでできる天候に恵まれました。午前中に潮干狩りを行い、参加者全員入れ物いっぱいにあざりが取れました。貝を中心とした昼食の後、午後からは、海に入って貝を探す方、休憩所にて談笑をされている方等、それぞれゆったりとした時間を過ごし、予定時間通りに帰郷しました。貝を持ち帰ることもでき、参加者の皆さんも満足された事業であったと思います。

開催日が他の催しと重なり、参加者が少なかったのは残念でした。今後、家族会には、一人でも多くの方にご参加いただけるよう、企画・検討していきたいと思っております。



湖南支部

「親睦・特別事業親子フォーラム」開催

例年、支部会員・ご家族の皆さまと、親睦・家族とのふれあいを目的として行っている「親睦・特別事業親子フォーラム」を、去る7月27日に開催いたしました。今年度は、開業10周年を迎えた「ユニバーサルスタジオ・ジャパン」に、バス4台に分乗し、支部会員・賛助会員・ご家族の皆さんを合わせて、総勢120名のご参加を頂きました。当日は、天候にも恵まれ、それぞれが、10周年の様々な催しが開催されているUSJを堪能し、夜のパレードまで十分楽しみました。相当疲れられたのか、帰りのバスは皆さん寝ておられました。子供達は、夏休みのいい思い出になったことでしょう。ご参加頂きました、支部会員・賛助会員・ご家族の皆さま、ありがとうございました。



湖北支部

平成23年度 湖北支部 バス家族旅行

トヨタテクノミュージアムとリニア鉄道館 平成23年7月31日実施

今年も恒例の日帰りバス旅行を会員の家族と共に実施することができました。今年度は、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館とリニア鉄道館に行きました。

トヨタテクノミュージアム産業技術記念館は、トヨタ自動車の元になる織物の機械にはじまる産業機械の機械技術の移り変わり自動車産業に移り行く歴史を見学し、何かしら、どの分野にもあてはまり、今の社会の産業の忘れかけている産業技術の「こころ」を感じました。また、リニア鉄道館においては、懐かしい電車や新幹線の形の変化など鉄道史の歴史が現物の形で展示されていましたし、最先端の技術の紹介もあり、とても楽しめました。また、その合間のお昼の時間も、例年とは違い、一堂に会しての食事会もでき、日ごろなかなかできない家族会の雰囲気となり、相互の親睦もはかれ、夏のよい思い出の1ページになりました。

すべての日程を無事終えることができました。参加者の皆さんありがとうございました。



9月の暦

1	木	大安	構築・連携特別委員会	11	日	先負	二級建築士試験(設計製図)	21	水	先勝	平成23年度第2期定期講習
2	金	赤口		12	月	仏滅		22	木	友引	まちづくり委員会
3	土	先勝	近建青 滋賀会議	13	火	大安		23	金	先負	秋分の日
4	日	友引		14	水	赤口		24	土	仏滅	
5	月	先負	女性委員会	15	木	先勝		25	日	大安	
6	火	仏滅	継続能力開発委員会	16	金	友引	・四役会・四役、委員長会議	26	月	赤口	CPD・専攻建築士評議会
7	水	大安		17	土	先負		27	火	先負	細則・内規等検討特別委員会
8	木	赤口		18	日	仏滅		28	水	仏滅	
9	金	先勝	地域貢献活動センター委員会	19	月	大安	敬老の日	29	木	大安	青年委員会
10	土	友引		20	火	赤口		30	金	赤口	

あきんど号ラリー参戦記

アジアンラリーエピソード

2001年はバンコクスタートのベトナムゴールであった。残念ながら我々は仕事の都合がつかず4年連続出場していたラリーの参戦を断念せざるを得なかった。今回はそれ以降のアジアンラリーのエピソードをいくつか紹介しよう。

2002年はスポンサーの協力もありラリーに復帰することが出来た。この年はバンコクスタートでカンボジア・アンコールワットゴールの3,000kmのラリーだった。レース前日に、日本人エントラントを対象に前年度好成績を取めたナビゲーターが講師となり、勉強会をする事になっていた、しかしその講師が当日体調を崩し入院、急遽私にその役目が回ってきた。その甲斐あってか日本人チームは10台参加、9台が無事にゴールすることが出来た。この頃から、アジアンラリーの「兄貴的存在」と呼ばれるようになった。タイからカンボジアへのボーダー越えて目にしたのは、地雷で足をなくした人や、子供が赤ちゃんを背負って「Give me 10パーツ」とせがんでくる姿である。大きな衝撃を受けたのだった。当時カンボジアのデコボコ道の両サイド50mくらいところには、どくろマークの標識があって、地雷の危険を警告していた。あきんど号はそんな道を、エンジンの壊れた日本人のラリー車を90km余り牽引して走り、ともに完走したのだった。

2003年はバンコクスタートのマレーシア・クアラルンプールゴール3,000kmである。最終SSはF1レースも行われるセパンサーキットを5周走るものであった。元々、クロスカントリー、ダートを設定して作られたマシンであるため、高速サーキット走行はエンジンへの負担が大きく黒煙や白煙を吐きながらゴールするマシンがほとんどだった。

2004年はバンコクから北上し、ラオス・ヴィエンチャンゴール2,900kmである。あきんど号はロックセクションでフロントショックの上部がはずれ、それがオイル



2002年ゴール地 アンコールワット



2003年最終SSはF1でおなじみのセパンサーキットパンに突き刺さりSSゴール後、オイルが噴出し自走できなくなった。岡山から参加のチームに牽引をお願いし、ターゲットタイムとの時間を計算をして、とりあえず携帯電話のつながるところか、修理のできそうな町まで引っ張って貰うことにする。初めは60km/h位でスタートしたが、みるみる80、100km/h…。エンジンを止めたままなので当然、ブレーキが利かないハンドルは重い、下りコーナーではタイヤを鳴らしながら山道をおりて行き、直線が多くなるとメーターが120km/h。時間が無く、牽引状態でも一般車を抜いて行く。さすがにこれは良くないぞ、早く修理できる工場を見つけなければと話しているうちに携帯電話がなくなる場所に出て、同時に工場らしきところが見つかったので切り離し先に行ってもらうことにする。工場のオヤジさんをお願いしたところ直せると言う。同じパーツが手に入らない中、どんな方法で修理するのかと見ていると、5cmくらい裂けてくしゃくしゃになったオイルパンの穴をハンマーで叩いて元の状態にのぼし、ガス溶接をする。驚くことに、カーバイトに水を垂らしてアセチレンガスを発生させるのだ。酸素は高压ポンプを使用し器用に溶接をしてしまった。ショックアブソーバーも近所で買ってきてくれ交換。修理に要した時間は2時間半であった。いろんな人の助けや、協力のおかげで、この年もあきんど号は無事完走する事ができた。

(湖東支部 辻本隆志)



裂けたオイルパン



アセチレンガス発生装置

おうみ賢人 旧伊庭家住宅

きゅういげいじゆうたく

旧伊庭家住宅は滋賀県近江八幡市安土町にある、安土町文化財建造物第1号として指定を受けた歴史的建造物。大正2年(1913年)に建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズ的设计により、旧住友財閥の二代目総理事伊庭貞剛の四男伊庭慎吉の邸宅として建設された和洋式木造住宅。現在は安土町郷土館として活用、一般公開されている。

(参考文献:ウィキペディア)

